

第24回定期大会

雇用を守る取り組み強化などを補強 2023年度活動方針を確認



安河内賢弘会長の音頭によるガンバロー三唱で会場が一体となった
「変革・実践 新しいJAM運動に向けて団結してガンバロー」

JAM第24回定期大会は8月25日に対面とWeb併用で開かれた。東京千代田区「ベルサール神田」を本会場として、役員、代議員・特別代議員など440人が、それぞれの所属の地方JAM・県連事務所などから参加した。

本大会は中間年にあたり、昨年確認した「2022年度・23年度運動方針」の補強として第1号議案「2023年度活動方針」を審議した。「雇用とくらし(生活)を守る取り組み強化」「JAMにおけるJOB型雇用に関する整理と指針づくりの検討」や「高齢者雇用の労働条件についての実態把握」などを補強した。

「第26回参議院議員選挙中間総括」では「村田きょうこ」氏の当選について、12万5340票の獲得も、前回など過去の得票数には及ばず、大きな課題を残したとして1月の中央委員会へ向けて厳しい総括をすることを

確認した。

役員の補充では、昨秋に連合会長に就任している芳野友子副会長(本部/JUKI労組)、宮崎美寿中央執行委員(南東北/TDK労組北日本本部)、岩崎真孝中央執行委員(大手・業種/小糸製作所労組)の三人が退任した。新副会長には、上野都砂子氏(本部/CKD労組)、中央執行委員には、大野穰氏(北東北/セイコー労連・エイブリック労組秋田支部)、原田勝利氏(大手・業種/TDK労組)が選出された。

資格審査や賛成・反対・保留の議決などは電子投票システムを活用し、十本の議案と活動報告・会計決算報告は、五人の代議員から意見・要望を受け、それぞれ、満場一致・賛成多数で確認された。

大会議長は納富聡代議員(南東北/山形カシオ労組)・田中強代議員(大阪/コマツユニオン大阪支部)が務めた。